

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・ 課題</p> <p>教職員、保護者、地域いずれも肯定的な回答は、約95%となっており、昨年度と同様に高い水準となっている。学校教育目標や経営方針、学校生活や行事の様子等を、ホームページや便りで随時公開していることが要因と考えられる。学校運営協議会で協議の場を設けていることも高い数値につながっていると考えられるため、今後も継続していくのがよい。</p>
	児童			<p>課題解決 への方策</p> <p>引き続き、積極的な情報公開をすすめ、学校運営協議会の委員とともに、協議する場を設けていきたい。</p>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者 評価委員 会による 評価</p> <p>今回は、保護者回答をペーパーレスで行ったが、233家庭中82の回答数だったと聞く。回答数をあげるにはどうしたらよいか考えなければならない。</p>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>53% (①), 41% (②), 6% (③), 0% (④), 0% (⑤)</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員93%・生徒は91%・保護者92%・地域88%と概ね理解を得ることができている。学校だより、ホームページ等で学校の様子を積極的に配信している。学校教育目標や教育方針等も掲載し、積極的な情報提供をしている。また、校長から適切に講話をしていることも成果に繋がっている。</p>
	児童	私は、学校教育目標を知っている。	<p>71% (①), 20% (②), 5% (③), 3% (④), 1% (⑤)</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>ホームページ、メール配信等の活用場面が増えてきたが、既読にならない家庭、紙の文書が保護者に届いていない家庭が一定数あり、粘り強い取り組みが必要である。</p>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>57% (①), 35% (②), 6% (③), 1% (④), 1% (⑤)</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>メール配信が多くなると軽重がつけづらくなってしまふ懸念がある。 C4thやメールでの発信は、保護者には伝わっても地域には難しい。学校と地域と保護者とで情報のやり取りができるにはどうすればよいか、学校だよりを回覧しているが、自治体加入者が毎年減少している。自治会の掲示板やスーパーに貼ってもらうという手もある。</p>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>82% (①), 6% (②), 12% (③), 0% (④), 0% (⑤)</p>	

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>47%</td></tr> <tr><td>②</td><td>47%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	47%	②	47%	③	6%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒ともに肯定的な回答が95%を超えている。学校全体で「一人残らず学ぶ教室」をめざし、校内研修などを通じて学び合い学習を推進している成果である。昨年は数名「まったくそうおもわない」の項目にチェックしていた生徒がいたが、今年は0になった。</p>
	評価項目	割合														
	①	47%														
	②	47%														
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>63%</td></tr> <tr><td>②</td><td>32%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	63%	②	32%	③	4%	④	0%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒一人ひとりの学びの状況を把握できる教員の資質を今後も職員研修などを通じて向上させていく。</p>	
評価項目	割合															
①	63%															
②	32%															
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>『分かりやすく工夫した授業を行っている』という設問に対して『改善の余地があり、もっとできるはず』と思っているので、『そう思う』につけていない教師が多いのではないかと。</p>													
地域																

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員①18%②71%、生徒①56%②34%に、教職員の視点と生徒の視点の違いが見られる。地域の方の評価が高いのは、授業参観・学校公開日等の生徒の態度が良好であったと考える。教職員・生徒の中には、項目内容に肯定的でない生徒も10%いるので、軽視せず、要因を追求し、効果的な指導や学びの環境が整うよう整備する必要があると考える。</p>
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		<p>課題解決への方策</p> <p>生徒が主体的に学ぶ学習の一層の充実には、教員と生徒の信頼関係に基づく授業や学び合う関係の構築が不可欠である。教職員は、生徒が授業に興味・関心を持つ魅力ある授業を目指し、教材研究を深め、常に授業改善を意識しなければならない。</p>
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>『授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している』では、小中学校ともに『あまり思わない』、『そう思わない』と答えた児童生徒がいる。生徒自ら落ち着いた授業を受けていない自覚があるので、改善の余地がある。</p>
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		

<p>鶴ヶ島市立南 中学校</p>	<p>評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答</p>
--------------------------	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table border="1" style="margin: 5px auto;"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>35%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	59%	②	35%	③	6%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>おおむね組織的に毅然とした対応ができていると考える。ただし、少数の否定的な回答を見逃してはならず、その要因を分析する必要がある。</p>
	評価項目	割合														
	①	59%														
	②	35%														
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table border="1" style="margin: 5px auto;"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>79%</td></tr> <tr><td>②</td><td>17%</td></tr> <tr><td>③</td><td>3%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	79%	②	17%	③	3%	④	1%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <p>学年間での情報共有や各部会の活用はもちろん、各案件に対応する職員の役割を明確にし、組織で対応する。報告・連絡・相談の凡事を更に徹底し、初動を早くしていきたい。また保護者や関係機関とも連携し、個別最適な対応に努める。いじめやトラブルが起こらないように積極的な生徒指導を心がけ、生徒が安心して通える学校づくりを目指す。</p>	
評価項目	割合															
①	79%															
②	17%															
③	3%															
④	1%															
⑤	0%															
保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table border="1" style="margin: 5px auto;"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>60%</td></tr> <tr><td>②</td><td>37%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	60%	②	37%	③	4%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>9割の方が肯定的な回答で、おおかた保護者も安心して子供を登校させることができる状態である。但し、数パーセントでも、「そう思う」と回答した生徒がいることを踏まえると「そう思う」と回答した生徒への対応をすることは必須と考える。今後もQUの活用等を実施し、早期発見・早期解決に努める必要はある。また、インターネットを通じた誹謗中傷等の問題はよくニュース等で取り上げている。見えない場所での関わり等にも、注意深く目を向けて、対応をしていく必要はある。</p>	
評価項目	割合															
①	60%															
②	37%															
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															
地域																

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>41% 47% 12% 0%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>おおむね決まりを守ろうと意識をして生活をしていると考える。生徒会選挙で校則見直しを公約に掲げる立候補者がいて、生徒が主体となって校則を考えるよい機会となった。</p>
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>77% 20% 2% 0%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒が正しく、決まりについての意義を理解できるよう、すべての教職員が共通理解を図って、生徒に対して日々指導を続けなければならない。生徒指導提要に掲げられた『支える』生徒指導観をすべての教職員が共有し、実践しなければならない。</p>
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>54% 39% 6% 0%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>児童生徒は『ルールを守れない、守りたくない』という感情が芽生えてくる年代なので、家庭からの指導もふまえて発信していく必要がある。学校での表情、家での表情、またはスポーツ少年団など外部の活動の中での表情は様々だということを踏まえて、子供たちを見ていけたらいいのではないか。</p>
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>53% 47% 0% 0%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>生徒の回答と教職員・保護者・地域の回答に乖離がある項目である。ただし、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は80%程度を維持することができている。</p>
	児童	私は、すすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>義務教育の最終段階として、社会に出て通用するTPOに応じたあいさつができるよう、教職員自ら範を示す。あいさつは生活習慣の一部でもあるので、家庭や地域とも連携していく。また小中が連携して9年間で体得できるように、南小中連携重点項目としたい。</p>
	保護者	児童は、家族や近所の人ですすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>児童生徒に対する設問に改善の余地がある。『誰に対して、どのようなあいさつができれば100点なのか』を分かりやすく示すことができれば、子供と大人との評価のギャップが埋まるのではないか。</p>
	地域	児童は、地域の人ですすんであいさつをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>生徒・教職員・地域は肯定的な回答が高いが、保護者の否定的な回答の割合が比較的高い。朝練習がある場合や冬場の下校時の様子も検証が必要であるとする。</p>
	児童	安全に、安心して登下校できる。		<p>課題解決への方策</p> <p>定期的な登下校指導を継続していく。生徒にとって、地域の見守り、住宅や人通りが多いことが安心感につながるので、地域との連携をしていく。生徒の安全安心な登下校を第一に考え、朝練習の有無や冬場の下校時刻の見直しを検討していく。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>松ヶ丘のバス通りや太田ヶ谷など、街灯があっても暗いところが多く、子どもたちに、登下校時の危なさ・リスクを自覚してもらうには、どう伝えていけばよいのだろうか。 登下校時の子どもたちの安全安心を確保するため、中学校の保護者、子供がいない一般の方にも旗当番など見守りに協力してもらうのはどうか。暗くなる時間は子どもにライトを持たせ、所在がすぐにわかるとよい。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>59% 41% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>100%が肯定的な評価をしている。来年度も継続した取り組みを行っていく。</p>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <p>来年度も学校HP等を活用しながら開かれた学校づくりを継続する。</p>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>59% 38% 2% 1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>受験に向けて、保護者のアンテナも高くなる中で、学校と保護者が連携して取り組んだ成果のひとつとも言えるのではないかと。感染症対策を十分に取り、対面でしかできないことの実施にこだわった成果が、保護者の評価にもつながっているのではないかと。</p>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>59% 41% 0%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>71%が肯定的な評価であった。今年度も総合的な学習の時間では地域企業との連携や、地域団体との国際交流で協力してもらう場面を設けた。進路学習でもPTAの協力でキャリア教育を実践できた。次年度以降もより開かれた、地域とともに子どもを育む学校教育を行っていく。</p>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <p>コロナ後を見据え、より一層、地域と連携した教育活動を推進したい。地域団体と教員で活動のねらいを共通認識にし、授業準備をしていくことで、より有効的な活動になると考えられる。また学校応援団コーディネーターや学校運営協議会委員の方々に、地域団体と学校を繋いでもらい、より多くの地域の方々に、学校に係る機会を作らせていただく。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>松ヶ丘のフェスティバルやわいわいがやがや祭りを通して、自然と地域の方との交流が生まれ、密接な関係ができたことが保護者の耳にも届き、評価につながったのではないかと。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>83%が肯定的な評価であった。水曜日には簡単清掃を実施し、毎日清掃活動に取り組んだ。環境委員会では清掃方法についてのビデオを製作し、大掃除前の生徒朝会で発表を行った。その結果、昨年より肯定評価が5%上昇した。</p>
	児童	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>清掃の質を高める手立てとして、今後も清掃の仕方や清掃用具の充実、生徒委員会の活用等を行っていく。また、環境委員会の活動の深化を図り、大掃除前だけでなく、普段の清掃にも深く関わっていけるように指導をしていく。</p>
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>今は、家庭で子供に掃除をさせて学ばせる機会がない。トイレ掃除を中学校で初めてやる生徒もいる。ICTの活用、スモールステップによる清掃スキルアップ等、指導の工夫が必要である。最終的に教師がつかずとも掃除ができるような状態まで成長することが目標である。</p>
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>47%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>18%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	6%	②	24%	③	47%	④	6%	⑤	18%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員間の意識の個人差が大きい。余裕を持って生徒に向き合う時間や教材研究の時間が取れている教員と、学校滞在時間が長い教員とがいる。その違いを分析検証し、時間の使い方を変えることで働き方改革につなげたい。</p>
	評価項目	割合														
	①	6%														
	②	24%														
③	47%															
④	6%															
⑤	18%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <p>旧態依然とした紙文化や慣習を打破し、ペーパーレス化やICTの活用、見通しを持った業務遂行など業務改善による働き方改革を進めるべきである。</p>													
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>中学校と小学校の違いが顕著な項目である。中学校では教科によって担当が異なり、教員間で共通して時間できることが少ないこともあろう。会社だと労働時間を前年度と毎月比較し、労働時間が増えていたら強制力を持たせて改革に取り組み、減らすためにはどうすればよいかを見極めていく。現状把握をしっかり行うことが大事で、行事等で減らせる月と減らせない月を総合的にみていくのはどうか。</p>													
地域																